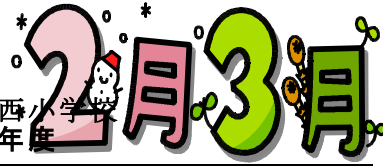


とよのっこ

学校便り
長野市立豊野西小学校
平成23年度



平成23年度学校運営のまとめ

大雪の冬からようやく春めいてまいりました。季節の移り変わりとともに、平成23年度も終わろうとしています。今年度もいろいろな出来事はありませんでしたが、大過なく無事終わることができそうです。これも保護者、地域の方々をはじめ多くの方々に支えていただいたお陰です。学校運営にご協力いただいた皆様に感謝いたします。

学校自己評価の報告

平成23年度は、めざす子ども像「**進んで伝え合う子ども**」として、

学校目標

- ◎ 克己…頑張るすばらしさを味わう子ども(体) → そうじ「無言清掃ができる子ども」
- ◎ 連帯…助け合っとうれしさをを感じる子ども(徳) → あいさつ「相手に気持ちが伝わるあいさつのできる子ども」
- ◎ 探究…考えぬいたのしさを子ども(知) → きく・話す「自分の言葉で伝えられる子ども」

学校運営の重点目標

を中心に、学校教育活動に取り組んできました。

今年度の取り組みの概要につきましては、これまでの学校便り「とよのっこ」でもお知らせしてきました。また、11月には取り組みへの意見を聞くための保護者アンケートをお願いしました。アンケートの結果は、別紙「**学校評価保護者アンケートの結果報告**」をご覧ください。全体的によい評価をいただきましたが、まだ十分でない点、反省すべき点もいくつか指摘していただきました。ご意見を参考にさせていただきながら、その後の取り組みに生かすよう学校運営を進めてきましたし、さらに来年度へ改善点として生かしていきたいと考えております。

そして年度末を迎え、本年度の学校運営についての学校自己評価についてまとめました。以下がその概略です。

あいさつ『相手に気持ちが伝わるあいさつのできる子ども』

具体的取り組み

気持ちが伝わるあいさつとともに礼儀正しさも身につけることを願って取り組んだ。児童会や縦割りでの活動、地域施設との交流活動等であいさつを通して、心のつながりを深めることも図ってきた。

今年度の成果

- ・交流を通して、人とのつながりを深め、学年をこえてあいさつするようになった。
- ・会釈などの習慣を指導することで、礼儀正しい行動ができるようにもなってきた。

来年度の方角

家庭や地域でのあいさつや学校でのお客様に対してあいさつができるよう、地域の中やPTAの方々へのあいさつを振り返らせたり、地域の方々に取り組みを知っていただき、校外でもあいさつができるようにしたい。

そうじ『無言清掃ができる子ども』

具体的取り組み

チャイムストップで気持ちを切り替えたり、残り3分で見つけ清掃にも取り組んだりした。姉妹学級清掃を取り入れて、高学年は低学年を教え、低学年は高学年をお手本として協力して清掃を行った。

今年度の成果

- ・チャイムで気持ちを切り替えて清掃に取り組むことは定着してきた。
- ・姉妹学級清掃では、互いに助け合い協力して清掃することができた。

来年度の方角

無言清掃は本校の伝統として定着してきているが、さらによりよいものにしていくために、チャイムストップ、残り3分見つけ清掃や姉妹学級清掃の継続し徹底させたい。清掃に真剣に取り組んでいる友だちの姿にも気付かせ、全校に広めたい。

きく話す『自分の言葉で伝えられる子ども』

具体的取り組み

発表する場を増やししながら、スピーチや話し合い活動などを取り入れ、自分の言葉で伝え合う場になるよう授業改善に取り組んだ。全校集会等発表できる場を設定し、大勢の前でも堂々と話せるようにしてきた。

今年度の成果

- ・大勢の前で大きな声で発表できるようになったり、活発に話し合えるようになってきた。
- ・職員入室時に、きちんと自分の言葉で用件を伝えて入れるようになってきた。

来年度の方角

引き続き、集会時における発表の場面やスピーチの機会を増やしたい。話し合い活動では、発言しなくなる場を定め、その中で自分の意見や考えを持ったり書く活動を取り入れたりするなど、授業展開を工夫し、話すことができる子ども達を育てたい。

詳しい学校自己評価については、2月22日(水)の学校評議員とPTA三役による「学校関係者評価委員会」にて報告検討していただき、今年度学校評価としてまとめました。今年度学校評価の課題と、保護者地域の方々の声などを基に、来年度平成24年度の学校運営計画の作成を進めております。来年度も、豊野西小学校の学校運営へのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

おはようございます。
少しとけはじめましたが、また雪が降りそうです。雪景色はきれいですね。いろいろなものがこの白い雪の中に覆われて、とってもきれいに見えます。

2月3日は節分でした。「鬼は外」と元気にできましたか。この鬼は外という言葉の中に、私たちの心の中にある鬼を退治しようという気持ちも含まれていると聞きました。

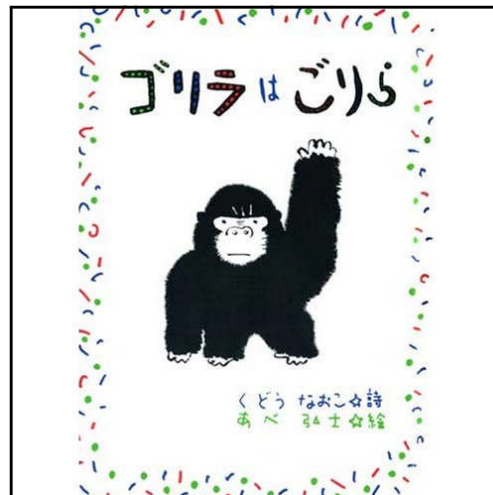
ある学級の人たちです。その人たちは、自分たちがもっと仲良くなるにはどうすればいいか、もっとしっかり生活するにはどうすればいいか、熱心に話し合ったとのこと。「すばらしいことだな。」と思います。きちんとした生活ができること、今までがんばってきた人もすてきですが、自分たちを見返し、足りないことを考え、頑張ろうとするクラス。いいですね。先生はすごく応援しています。

校長先生のところに、1日の決意をいいにきたお友だちがいます。「ぼくは今日、これを頑張ります」帰りの時にきいてみます。「今日はろうかも走らないように頑張りました」嬉しいですね。今までできていなくても、今を、今から頑張ろうとする人。応援しています。

次のようなお友だちはどうでしょう。
まじめに、頑張っているけれど、自分の弱さに負けてちょっと意地悪をしてしまう、ちょっと怠け心を出してふざけてしまう。せっかく頑張ってきたのに、「今まで頑張ってきたからこれくらいいいかな」「ぼくは、ともだちよりまじめにやってきたから、少しぐらいいはさぼっていいんだ」これではそれまでがんばってきたことが消えてしまします。先生は、そういうお友だちを見るととっても残念に思います。

朝や夕方もずいぶん明るくなりました。この中で休んでいるように見える草木も、春に向けて着々と準備を始めています。豊野西小学校の児童の皆さんも、次の年に向けて、わくわくし始めていることでしょう。そんな中でみなさんといっしょに面白い詩を読みたいと思います。

ゴリラはごりら
くどう なおこ
でんぐりがえりの ゴリラ
うでたてふせの ゴリラ
なにをやっても ゴリラ
ゴリラはとて ゴリラ
はっぱをばくりと ゴリラ
きのみを ごくりと ゴリラ
なにを たべても ゴリラ
ゴリラはとても ゴリラ
かぜにふかれて ゴリラ
くもをながめて ゴリラ
こころの そこまで ゴリラ
とても りっぱな ゴリラ
とても りっぱな ゴリラ



今年の西小の目標に、はっきり話すことができるということがあります。その成果を見てください。次はみんなでいっしょに大きな声で息をいっぱい吸って読んでみましょう。

次は、ゴリラというところを自分の名前に変えてよんでみましょう。

次は、自分たちが大切にしているもの、クラスとか、仲間とか。山下先生にクラスの名前を入れて読んでいただきましょう。

どうでしょう。この詩のようにどんなことをしても 失敗やつまずきがあってもどんな自分も立派なのです。そして、友だちも自分と同じように立派なのです。そのように西小の子どもたちが自分も友だちも大切に、1年間を締めくくってほしいなと思っています。

もうすぐ卒業式です。

卒業生の保護者の皆様には、お子さんのご卒業を心よりお祝いいたします。

在校生の保護者の皆様には、お子さんの現学年の修了と進級を共に喜ぶとともに、引き続き来年度の豊野西小学校の学校運営へのご協力をお願いいたします。

